

平成18年2月7日  
沖縄電力株式会社

## 平成17年度第3四半期決算について

### 販売の状況

平成17年度第3四半期（平成17年4月1日から12月31日まで）の電気の需要は、電灯においては、お客さま数の増加により前年同期を3.6%上回りました。また電力においては、前年の渇水により需要増だった水道業が反動減となったものの、業務用電力においてお客さま数の増加による需要増があったことなどにより前年同期を1.3%上回りました。その結果、電灯と電力（特定規模需要を含む）の総販売電力量は前年同期に比べ2.2%増の57億92百万kWhとなりました。

### 収支の状況

収支については、収入面で電気料金引下げ（平成17年7月実施）の影響はあったものの、販売電力量の増加及び燃料費調整制度の影響があったことに加え、その他事業において建設関連の民間工事の増があったことにより、売上高（営業収益）は前年同期に比べ4.9%増の1,193億87百万円（単独では4.7%増、1,111億71百万円）、経常収益は5.0%増の1,198億92百万円（単独では4.7%増、1,115億69百万円）となりました。

一方、支出面では、燃料費や他社購入電力料などの燃料関連費用が、昨今の原油価格や石炭価格の高騰を受け大幅に増加しましたが、金武火力発電所の償却進行に伴う減価償却費の減、支払利息の減に加え、グループをあげて効率化の推進、諸経費の節減に努めたことなどにより、経常費用は2.9%増の1,042億14百万円（単独では4.1%増、961億88百万円）にとどめることができました。

以上の結果、経常利益は21.8%増の156億78百万円（単独では9.2%増、153億80百万円）、四半期純利益は27.1%増の99億41百万円（単独では8.8%増、98億55百万円）となりました。

### 業績予想

平成17年度の業績予想につきましては、売上高1,575億円（単独では1,425億円）、経常利益132億円（単独では120億円）、当期純利益81億円（単独では77億円）を見込んでおります。

以上

■平成17年度第3四半期 販売電力量（電気事業）

（単位：百万 kWh）

	当第3四半期 A	前第3四半期 B	増減 A-B	前年同期比 A/B (%)
電 灯	2, 227	2, 150	77	103.6
電 力	3, 565	3, 519	46	101.3
合 計	5, 792	5, 669	123	102.2

（注）「電力」には、特定規模需要を含む。

■平成17年度第3四半期 連結決算成績

（単位：百万円）

	当第3四半期 A	前第3四半期 B	増減 A-B	前年同期比 A/B (%)
売 上 高	119, 387	113, 764	5, 623	104.9
経 常 利 益	15, 678	12, 874	2, 804	121.8
四 半 期 純 利 益	9, 941	7, 823	2, 118	127.1

■平成17年度第3四半期 単独決算成績

（単位：百万円）

	当第3四半期 A	前第3四半期 B	増減 A-B	前年同期比 A/B (%)
売 上 高	111, 171	106, 172	4, 999	104.7
経 常 利 益	15, 380	14, 087	1, 293	109.2
四 半 期 純 利 益	9, 855	9, 055	800	108.8

主な収支好転・悪化要因（単独決算）

<好転要因>

- ・電灯電力料の増 49.8億円（対前年同期 104.7%）  
（うち燃料費調整制度によるもの 25.8億円）
- ・減価償却費の減 20.2億円（対前年同期 90.2%）
- ・支払利息の減 9.1億円（対前年同期 78.4%）

<悪化要因>

- ・燃料費の増 ▲53.6億円（対前年同期 127.8%）  
（うち燃料価格高騰・円安等による単価増 ▲53.0億円）
- ・他社購入電力料の増 ▲10.4億円（対前年同期 110.9%）  
（うち燃料価格高騰・円安等による単価増 ▲6.1億円）

■平成17年度業績予想

	売上高	経常利益	当期純利益
連 結	1,575億円程度 (104.5%)	132億円程度 (116.6%)	81億円程度 (106.4%)
単 独	1,425億円程度 (103.9%)	120億円程度 (103.6%)	77億円程度 (101.4%)

※（ ）は対前年度比